

大阪市立

磯路小学校



所在地 〒552-0003 港区磯路3丁目7番7号

TEL 06-6571-5300

FAX 06-6572-2675

校長名 糸井 利則 (いとい としのり)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は昭和12年9月に大阪市磯路尋常高等小学校として発足し(場所:現在の港区民センター付近)、今年で創立89年目を迎えました。校区は、JR及び大阪メトロ弁天町駅に近く、学校のすぐ近くにある磯路中央公園は、広々とした大きな公園で自然に恵まれています。ペットの散歩やジョギングに親しむ人たちが数多く集まり、町の人たちの憩いの場として、子どもの遊び場として親しまれています。校区には、本校を卒業した住民、保護者も多く、家庭と地域とのつながりや交流も多く行われ、学校への関心は高いものがあります。

本校は、「はぐくみネット事業」に参加するとともに、家庭・地域・学校との連携を図る様々な取り組みを通して、「地域に開かれた学校づくり」をめざしています。子どもの安全を守るために、PTA・磯路社会福祉協議会・磯路連合振興町会・磯路地域活動協議会・老人会・女性会・更生保護女性会・企業の方々にもご協力いただき、地域が一丸となった「子どもの見守り活動」も行っています。子どもたちは、毎朝、高学年の班長を先頭に集団登校し、元気に挨拶をしています。児童会活動や学校行事では、たてわり班の活動を多く取り入れるとともに、保護者や地域の方々と共に活動する「ふれあい清掃」「防災学習」「町たんけん

や、「生活科」「総合的な学習の時間」の学習を通して、異学年同士や地域・保護者の方々だけでなく、ゲストティーチャーの方々との交流も深めています。

また、本校では全学年でチーム担任制を実施しています。低・中・高学年チームで「みんなで見て、みんなで作る学校」を目指して全教員で子どもたちの学習面や生活面をきめ細かく支援しています。複数の教員が関わることで、一人一人のよさや可能性を多面的に捉えることができ、子どもたちが安心して学び、成長できる学校づくりにつなげています。

また、子どもたちに様々な体験とチャレンジの場を保障するために、地域と連携して休日に希望者を募って「磯りんぴっく」(地域運動会)や「磯路公園何周走RUN大会」や「磯路五色百人一首大会」等も継続して実施しています。

学校の様子はホームページでも随時公開していますので、ぜひ学校生活の様子を見ていただきたいと思います。ただし、令和9年度夏まで校舎建て替え工事のため運動場が使えないので、体育の学習は磯路グラウンドを借りて行っていることをお知らせしておきます。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

(令和8(2026)年度の学力経年調査における)

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 「いろいろな国や地域の文化や言葉の「ちがいを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

(令和8(2026)年度の学力経年調査における)

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

- 「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8(2026)年度の学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

●令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)		
国語	算数	理科
59	52	50

各教科の平均正答率については、国語59%、算数52%、理科50%となり、いずれも大阪市平均および全国平均を下回る

結果となった。平均無解答率については、国語3.9%、算数3.1%、理科3.8%であり、全国平均（国語3.3%、算数3.6%、理科2.8%）と比較して概ね同程度であった。質問紙調査においては、「ICT機器の使用」に関する項目で肯定的な回答が多く見られ、児童がPCやタブレットを

学習に活用する意識が定着していることがうかがえる。また、「自分にはよいところがある」など自己肯定感に関する項目についても、全国平均と同程度の結果であった。今後は、学習のねらいを明確にし、児童が見通しをもって学びを進められるよう単元構成を工夫するとともに、ICT機器を効果的に活用しながら情報を整理・共有する力の育成を図っていく。また、社会科で育てた「課題を発見し、対話を通して解決策を見いだす力」を他教科にも広げ、全教育活動を通して児童の思考力・判断力・表現力の育成を目指す。

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

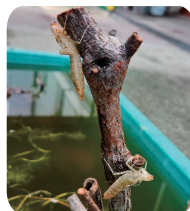
項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	11.67	21.32	31.56	32.53	46.05	9.83	129.33	19.89	45.94
女子	13.42	19.05	34.65	33.60	44.00	10.17	128.16	14.83	50.47

本校5年生の体力合計点は、男子45.94点、女子50.47点であり、男女ともに大阪市平均および全国平均をやや下回る結果となった。一方で、男子では20mシャトルランや反復横とび、女子では長座体前屈など、比較的よい結果が見られる項目もあり、それぞれの児童の強みもうかがえる。今後は、基礎的な体力をバランスよく高めていけるよう、継続的な取組を進めていくことが大切である。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」においては、「好き」「やや好き」と回答した割合は、男子では全国・市平均をやや下回り、女子では「好き」の割合は一定程度あるものの「あまり好きではない」「嫌い」と回答する児童の割合が全国より高い傾向が見られた。また、1週間の総運動時間については、平日の運動時間が全国平均をやや下回る日が見られ、特に女子においては運動時間の二極化傾向がうかがえる。週末は運動時間が伸びる傾向にあるが、日常的な運動習慣の定着には課題が残る。

本校は今年度、校舎建て替え工事により運動場の使用が制限される中でも、体育の学習や休み時間の外遊びの機会を確保してきた。体育では磯路グラウンドを年間契約し、講堂と併用して活用した。また、休み時間も遊具スペースや講堂の使用曜日・時間を設定し、できるだけ運動の機会を保障してきた。

一方で、体力合計点は男女とも大阪市平均及び全国平均を下回る結果となり、基礎的な体力の向上が課題である。特に、日常的に体を動かす習慣や運動への意欲を高める取組を充実させる必要がある。今後は、体育の授業において成功体験を積み重ねることができ活動や技能差に配慮した指導を工夫するとともに、休み時間や学校生活の中で体を動かす機会をさらに充実させていく。また、家庭や地域とも連携しながら、児童が楽しみながら運動に親しみ、継続的な運動習慣の定着につながる取組を推進していく。

給食で食べた夏みかん・甘夏かん・河内晩柑等の種を子どもたちが植えて育った葉にアゲハ・チョウが卵を産み、子どもたちがその卵を育てて羽化させてチョウになり、またそのチョウが卵を産みと、都会の片隅で命の循環を学んでいます。



【クラブ活動】

運動 科学・工作 パソコン ダンス
家庭科 イラスト 室内ゲーム

【委員会活動】

運動 放送 図書 集会
新聞掲示 健康 給食

※実施するクラブ、委員会は、年度によりかわることがあります。

主な学校行事

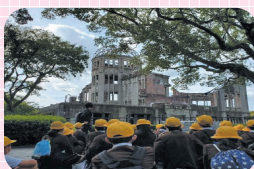
入学式



運動会



修学旅行



学習発表会



昔遊び体験



いそじウキウキランド



遠足



平和集会



作品展



卒業式

